

最近、大きな選挙の話題が二つありました。大阪市を存続させるかを決める住民投票とアメリカ合衆国の大統領選です。みなさんはニュースをどのように見ましたか？

大統領選では、激戦の末、民主党のジョー・バイデン候補が勝利を収めました。アメリカの選挙は間接選挙と言って、まず、投票する人は選挙人という代表の人を選び、その代表の人が自分の良いと思っている方に、投票するという仕組みです。今回は、郵便投票で不正があったのではないかということで、トランプ大統領が裁判を起こしていて、まだ結果は確定していません。これからどのように決まっていくのか、興味のあるところです。みなさんも続きがどうなるかを、興味を持って見守って欲しいです。

次に、大阪市の住民投票では、大阪市を廃止して4つの特別区をつくるという都構想案の反対が僅かながら多く、否決（案を廃止し、今まで通りとすること）されました。大阪市の24区別で集計された結果を見ると、みなさんが住んでいる生野区でも反対が僅かながら、多かったようです。選挙では数が多い方が勝ちということになり、候補者が言っていた政策が実行されることになります。

みなさんに考えて欲しいのは、これから学年が進むにつれて、クラ

スで何かを決める時に多数決という方法で、決めていくことがあると思います。中学生になれば、そういった場面が増えていきます。多数決をした時に、多くの人が賛成したから、負けた方はただ「多い方の言うことを聞け」ということではありません。多い意見だった方は、少なかった方の思いや意見を大切にしながら、物事を進めていく必要があります。

今回の住民投票は、大人もこれからの大阪市について、考える良い機会だったことは間違ひありません。都構想に賛成意見も多くあつたので、反対運動を進めていた人たちも、今の大阪市のままで良いとは思われない結果でした。

みなさんも、選挙は大人になってからだから、関係ないではなく、今、世の中で話題になっているニュースを気にする習慣をつけて欲しいと思います。

そして、多数決で決めることがあっても、少ない方の意見も大切にする姿勢を忘れないで欲しいと思います。